

第1回学都仙台コンソーシアム運営委員会議事要録

1. 日 時

令和4（2022）年6月30日（木）13時00分～14時13分

2. 開 催

Zoomによるオンライン会議

3. 出席者

千葉 公慈運営委員長（東北福祉大学）、松本 文弘副委員長（仙台大学）、水田 恵三副委員長（尚絅学院大学）、梅山 光弘委員（石巻専修大学）、木村 昭代委員（聖和学園短期大学）、佐藤 喜根子委員（仙台赤門短期大学）、志田 昌幸（仙台白百合女子大学）（大本泉委員代理）、岩間 正典委員（仙台青葉学院短期大学）、千葉 昭彦委員〈企画部会長〉（東北学院大学）、山田 一裕委員〈復興大学部会長〉（東北工業大学）、三上 秀夫委員（東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部）、淵村 剛司委員〈広報部会長〉（東北大学）、松本 祥子（東北福祉大学）、山田 春文（東北文化学園大学）（加藤由美委員代理）、多田 晴観委員（東北医科薬科大学）、藤王 勉委員（放送大学宮城学習センター）、岡 正明委員〈サテライトキャンパス部会長〉（宮城教育大学）、井坂 亨委員（宮城誠真短期大学）、嶋貫 淳委員（公益財団法人仙台観光国際協会）、今野 薫委員（仙台商工会議所）、押谷 祐子委員（一般財団法人東北多文化アカデミー）、青沼 廣利委員（一般社団法人みやぎ工業会）、山中 知世（国立研究開発法人理化学研究所）（中山 陽右委員代理）、千坂 守委員（宮城県）、寺牛 慎貴（仙台市）（瀧澤 孝二委員代理）

「順不同」（運営委員数29名／出席者数25名）

黒崎事務局長から、本会規約第20条第1項に規定する定足数（過半数）を満たし、会議は成立する旨の報告があった。

4. 議事

1. 審議事項

- (1) 令和4（2022）年度運営委員会委員の変更選出（案）について
会長校から、令和4（2022）年度運営委員会委員の変更選出（案）について、配付資料に基づき趣旨説明があり、審議の結果、承認された。
- (2) 令和4（2022）年度各事業部会長の指名について
会長校および千葉運営委員長から、2月第32回定期総会における、各事業部会長校の承認を得て、令和4（2022）年度各事業部会長の指名について、配付資料に基づき趣旨説明があり、審議の結果、承認された。
- (3) 第33回定期総会の議案について
第1号議案 令和3（2021）年度事業報告について

- 第2号議案 令和3（2021）年度収支決算について
- 第3号議案 令和3（2021）年度監査報告について
- 第4号議案 令和4（2022）年度運営委員会委員の変更選出（案）について
- 第5号議案 令和4（2022）各事業部会長の指名について

第33回定期総会の議案について、第1号議案については、会長校及び各事業部会長から、第2号・第3号議案については、前会長校から、それぞれ配付資料に基づき趣旨説明があった。先に審議した第4号・第5号議案を加えて、7月26日（火）開催の定期総会に議案として提案する旨説明があり、審議の結果、承認された。

(4) 後援名義等使用の承認について

会長校から、後援名義等使用の承認について、配付資料に基づき趣旨説明があり、審議の結果、承認された。

2. 報告事項

(1) 令和4（2022）年度各事業部会の構成と活動計画について

各事業部会長から、令和4（2022）年度各部会の構成と活動計画について、それぞれ報告説明があった。

【単位互換部会】

千葉運営委員長から、単位互換部会の報告については、西川部会長欠席のため、「議案書ご覧の上、確認する」旨の報告説明があった。

- ・ 令和4年度の単位互換部会の構成員等は、《名簿》のとおり。
- ・ 部会の開催状況。
- ・ 令和4年度前期の単位互換ネットワーク履修状況について、受入れ大学5大学、提供科目数35科目、履修者数52人。「前年度比〔受入れ大学+1、提供科目数+8、履修者数-9〕」。提供科目35科目中9科目が対面授業実施、52人中履修者11人。提供科目35科目中23科目が遠隔授業実施、52人中履修者38人。提供科目35科目中3科目が対面と遠隔併用授業実施、52人中履修者3人。

【サテライトキャンパス部会】

岡部会長から、サテライトキャンパス部会の構成と活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・ 令和4年度のサテライトキャンパス部会の構成員等は、《名簿》のとおり。
- ・ 令和4年度サテライトキャンパス公開講座の前期実施講座数について、対面講座及びオンライン講座の開講予定コマ数は、対面講座5コマ、オンライン講座2コマの、7コマを実施予定。
- ・ 令和4年度サテライトキャンパス公開講座の後期実施講座数について、対面講座及びオンライン講座の開講予定コマ数は、対面講座18コマ、オンライン講座2コマ、対面とオンライン併用の21コマを実施予定。
- ・ コロナ禍でのサテライトキャンパス公開講座の実施対策として、①対面講座は、定員30名に制限し、1日2コマまでとする。②オンライン講座は、講座実施大学で100名～300名で実施予定。

- ・サテライトキャンパス「講座仙台学2023」は、対面1月中旬～2月上旬の期間で3日間最大6講座、オンライン講座1月中旬～2月上旬の期間4日間最大12講座をそれぞれ実施予定。

【広報部会】

渚村部会長から、広報部会の構成と活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・令和4年度の広報部会の構成員等は、《名簿》のとおり。
- ・令和4年度事業計画として、①ホームページの更新・充実。②「学都仙台コンソーシアムPR記事」による広報活動の実施。「広報サポートスタッフの活動支援・フリーペーパー発行の代替事業代替事業」③学都仙台コンソーシアムリーフレット（データ版）の更新。

【企画部会】

千葉部会長から、企画部会の構成と活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・令和4年度の企画部会の構成員等は、《名簿》のとおり。
- ・部会の開催状況。
- ・令和4年度事業計画として、①FD・SDに関するワークショップ、シンポジウムの情報公開およびFD研修会の開催②全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム参加2名（10月15日（土）16日（日））④イオンモール両宮の施設活用計画の取り組み「リカレント」拠点施設の運営についての検討。
- ・学都仙台コンソーシアム・両宮プロジェクトカリキュラム案の基本方針の提案があった。
- ・今後の取り組みでは入学金や授業料や諸経費など予算などに関する計画となるので、事業の双方での何らかの協定が必要になるとの提案に関して、了解された。

【復興大学部会】

山田部会長から、復興大学部会の構成と活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・令和4年度の復興大学部会の構成員等は、《名簿》のとおり。
- ・令和4年度事業計画として、復興大学事業を継続し、予算措置は、大学独自の取り組みとする。①復興人材育成教育事業②防災教育人材育成事業③地域復興支援事業④災害ボランティアステーション事業を予定。
- ・復興大学部会全体の活動として、WEBサイト運営を通常予算で実施する。
- ・復興人材育成教育事業として、オンライン開放型講座地域未来学を7月2日（土）開講、7月2日（土）～12月10日（土）全25講座（1講座60分）を開講予定。
- ・石巻専修大学開放講座：もっと地元を知ろう6月2日（土）～7月7日（木）全6講座（各講座90分）開講予定。
- ・2022年サマースクール開校：いしのまき子ども未来スクールの開校6月26日（日）会場：石巻専修大学。

(2) 後援名義使用の事業報告について

会長校から、後援名義等使用の事業報告について、配付資料に基づき報告があった。

3. その他

(1) 県制150周年記念事業について

黒崎事務局長から、県制150周年記念事業の取組状況「共同記者会見・イベントの実施状

況・コラボ商品・宮城の魅力発見：活動企画・キャンペーンの実施状況・記念誌」について、配付資料に基づき報告説明があった。

(2) 第33回定期総会の開催について

黒崎事務局長から、第1回運営委員会の閉会が宣言され、第33回定期総会を、7月26日（火）13時から運営委員会と同じZoomによるオンライン会議で開催する旨の報告があった。

以上